

大阪は「まち」がほんまにおもしろい

大阪 OSAKA あそび歩 ASOBO

古美術のまち・老松町めぐり

～国宝級の逸品からモダンアートまで～

古美術からモダンアートまで、ずらりと並んだギャラリーが圧巻の日本で唯一の美術商のまち・老松町。博物館で見たあの美術品に値札がつくと…。いつでもひやかしOK！一軒一軒のお店がやさしくあなたを大歓迎してくれます。

① 淀屋橋、大江橋

1935年に大阪市第一次都市計画事業の御堂筋建設に伴って作られた鉄筋コンクリート造アーチ橋。大江橋と淀屋橋はデザイン設計の一般募集が行われ、当選作品に基づいて建設されました。両橋は一对で、南欧中世風デザイン、橋脚上のバルコニー、御堂筋完成50周年記念で復元した青銅製欄干などは見物です。2008年12月、近代大阪の都市形成を担った歴史的建築物「大江橋及び淀屋橋」として国指定重要文化財となりました。

② 老松町

老松神社(ご祭神 住吉大神・神功皇后 1990年に大阪天満宮境内に遷座)によれば「古く神功皇后九州筑紫より帰航の折 巨松に風波の難を避け樹下に社を建てたのが始まりと伝う のち貞観2年(860)白砂青松の地(旧老松町3丁目)をとし 老松神社を建立す」とあります。老松は住吉大神の影向松と伝えられ、住吉社にちなんで住吉町、のちに老松町と改められました(現在の住所表記は西天満)。神社縁日の老松町の夜店は順慶町、平野町とともに大阪三大夜店に数えられ、3と9のつく日(3、9、13、19、23、30)に行われました。町内にあった木見金治郎将棋道場では升田幸三と大山康晴が修行して、老松座では芝居も行われました(後に映画館)。古美術店と画廊だけでなく、日本料理や画廊喫茶、こだわりのある雑貨店などが多数あり、賑わっています。

③ 老松の碑

明治36年(1903)に梅田停車場(大阪駅)と大江橋間に梅田新道ができ、天満宮参詣道案内の為に、老松町1～3丁目の有志が建てた道標です。「天満宮はヨリ東七丁」とありますが、当初は現在地より西100メートル、今の御堂筋角にありました。戦後、新御堂筋の開通などで周辺環境が変わり、昭和57年(1982)現在地に移転しました。老松通は大阪天満宮の参詣道で、毎年7月25日の天神祭の陸渡御列を間近で見ることができます。

④ 古美術店と画廊

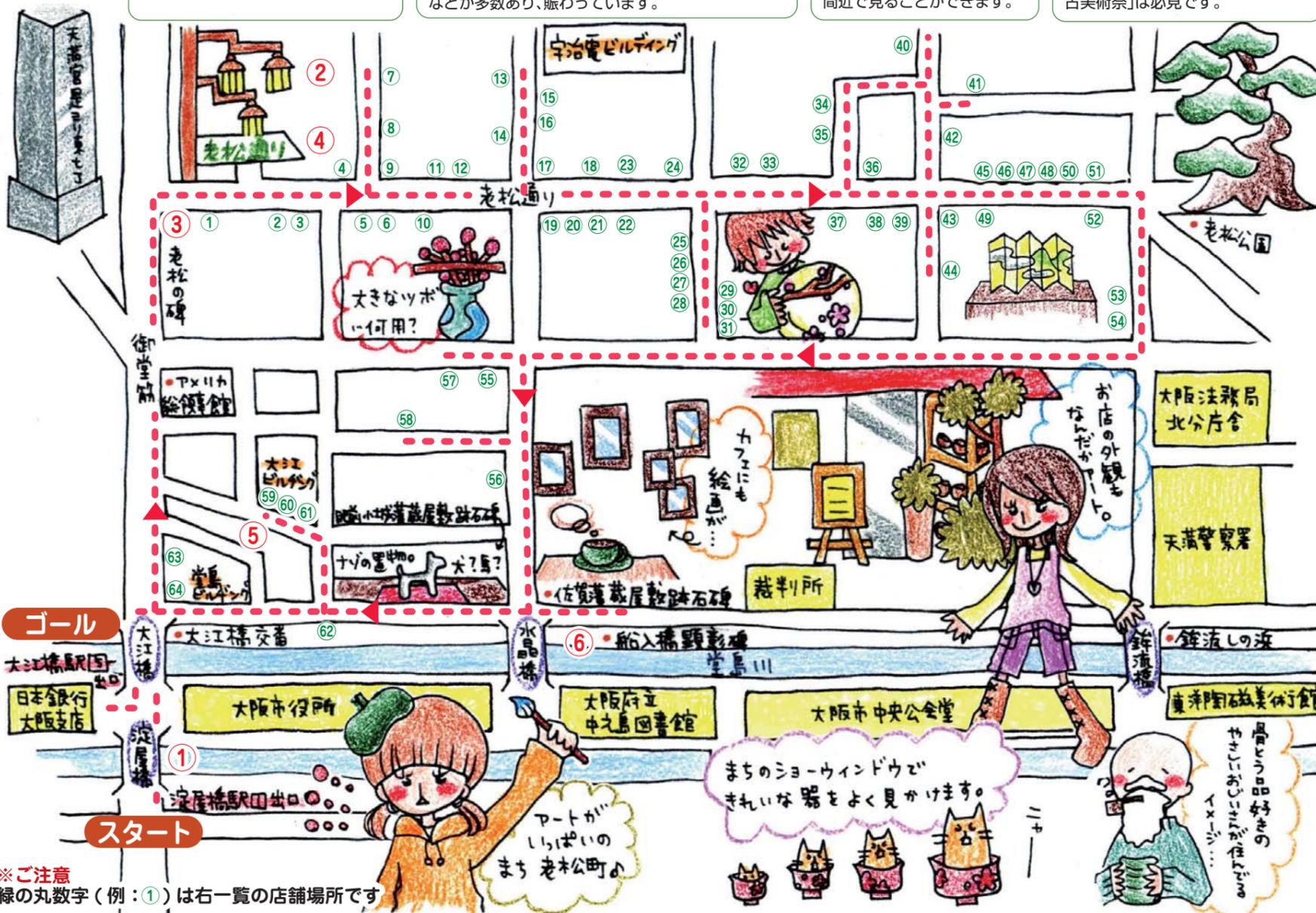
1947年、平野町にあった平野古陶軒の移転や、大阪市立東洋陶磁美術館の開館で同業店舗が集積した結果、古美術店と画廊が約70店舗も軒を並べる「美と文化の街」となりました。お店の扉を開ければ気さくに話しかけてくれる店主と、あなたのための逸品が待ち受けています。鑑定してもらうのもよし、買い入れてもらうのもよし、路面で間近に美術品に触られる老松町は、まさに街全体が美術館といえます。阪神大震災の復興支援を目的に始まった毎年、春と秋に行われる「老松古美術祭」は必見です。

⑤ 数々の近代建築物

日本銀行大阪支店(1903)、大阪府立中之島図書館(1904)、大阪市中央公会堂(1918)、大阪のオフィスの始まりと言われる大江ビルディング(1921)、堂島ビルディング(1923)、関西電力の前身・宇治川電力の本社ビルとして建てられた宇治電ビルディング(1937)など、老松町界隈を楽しんだあとは、ノスタルジックな近代建築物を見学するのもオススメです。

⑥ 佐賀藩蔵屋敷跡と船入橋頭彰碑

江戸時代、各藩は大川界隈に蔵屋敷を持ち、米や特産物などの多量の物産を船で搬入していました。また屋敷内には御船入という入掘を作り、その入掘への水路をまたぐ橋(船入橋)が架かっていましたが、1990年に現裁判所地に入掘跡が確認されて、佐賀藩蔵屋敷跡であることが裏付けられました。この船入橋は近松門左衛門「心中天の網島」の中では冥土へ旅立つ男女の姿を見送る「名残の橋」として書かれています。また佐賀藩蔵屋敷の浜辺は「鍋島の浜」と呼ばれ、井原西鶴の「好色五人女」では月見の名所として登場し、夕涼みの場、夏には盆踊りでも有名であったといわれています。



※ご注意
緑の丸数字(例:①)は右一覧の店舗場所です

- | | |
|----------------------|---|
| 1 泰古美術 | 東洋美術 |
| 2 近現代美術工芸 和泉玉尊堂 | 明治以降の物故巨匠から現存の人間国宝まで扱う
近現代美術工芸専門店 |
| 3 新古美術 山岡堂 | 日本の古い物から現代西洋アンティークまで幅広く
取り扱って居ります |
| 4 古美術 有隣館 | 東南アジア、中国、韓国古陶磁 |
| 5 (有)藤原集古堂 | 古美術入門者の方、大歓迎 |
| 6 Oギャラリーeyes | 若手美術家を中心にクオリティーの高い作品を紹介 |
| 7 ギャラリー 菊&蜂の集會サロン | 発表と交流の場 |
| 8 西美術店 | 近現代絵画、美術品 |
| 9 画廊23 | 新しい作家の絵画彫刻を紹介しています |
| 10 古美術 青々堂 | 古民芸、ガラス、酒器 |
| 11 古美術 中原 | 中国古陶磁 |
| 12 美術舗 ころか | 東洋古陶磁全般 |
| 13 備定画廊 | 国内外洋画、版画、陶芸 |
| 14 骨董 沙羅 | 生活骨董全般、古陶磁 |
| 15 千スペース | 貸画廊 |
| 16 古憩 | 中国古陶磁 |
| 17 GALLERY PHOTOGLAM | 写真専門の自主運営ギャラリーです |
| 18 若林梅香堂 | 東洋古陶磁(中国、韓国他) |
| 19 古美術 馬屋原 | 日本陶磁器、中国陶磁器 |
| 20 古美術 中村 | 古美術全般 |
| 21 欧州美術 | アールヌーボー作品、マイセン、ローマンガラス等 |
| 22 新古美術&ギャラリー 江戸 | 新古美術、茶道具 |
| 23 桃瀬川峰崎堂 | 日本陶磁(古伊万里、古九谷、鍋島) |
| 24 古美術 岡や | 李朝工芸中心の店です |
| 25 アートサロン 山木 | 若手作家の企画展と西洋骨董の店 |
| 26 三浦アートギャラリー | 洋画、日本画、版画 |
| 27 賢祥堂美術店 | 古美術全般 |
| 28 古美術 いざと | 古美術全般 |
| 29 アート・啓 | 古伊万里、中国古陶磁、古布、着物、小物、紙類等 |
| 30 古美術 上野 | 陶絵、漆器、金工、陶磁器全般 |
| 31 ギャラリー 浅羽 | 東洋古美術(日本、中国、韓国) |
| 32 瀬川画廊 | 近現代の洋画、日本画を中心に扱い、現存人気作家に至るまで
幅広く取り扱っています |
| 33 ギャラリー 海野 | 近代、現代の美術陶芸を扱う店で、人気の酒器も豊富な品揃え |
| 34 ギャラリー かがやき | 越前焼 |
| 35 陶泉房 | 古民芸、灯火器、布 |
| 36 前坂晴天堂 | 東洋古陶磁(古伊万里、柿右衛門、鍋島等) |
| 37 横垣軒古堂 | 中国、韓国、日本古陶磁 |
| 38 現代クラフトギャラリー | 陶芸、金工、染織、木竹工芸、ガラス工芸などクラフト全般を
専門としてご利用頂いています |
| 39 大阪現代画廊 | 当画廊は広く現代造形芸術のための画廊で諸種のアート展覧会の
会場としてご利用頂いています |
| 40 まる久 | 漆器小売、陶磁器の金継ぎ等修理 |
| 41 ギャラリー 白 | 現代美術(絵画、彫刻、陶芸、版画等)を展示 |
| 42 天野画廊 | 狭いスペースながらも骨のある現代美術を紹介しています
(英語・韓国語OK) |
| 43 画廊 ふくもと | 日本画、洋画、版画、陶芸 |
| 44 ギャラリー 恵賢堂 | 日本の近・現代工芸品 |
| 45 ギャラリー メゾンドウウコ | 西洋アンティークと西洋絵画 |
| 46 古美術 和田 | 御茶道具から古美術全般色々あります |
| 47 西洋古美術 白宮 | 西洋アンティーク各種 |
| 48 樹ギャラリー帝塚山 老松サロン | 西洋骨董から始まり、ガンダーラ、中国美術、日本の古陶磁、
仏教美術を取り扱っています |
| 49 樹ギャラリー帝塚山 企画展 | 手頃な価格の絵画、西洋食器、和の日用雑器を主体に取り揃えて
おります |
| 50 ギャラリー ベルンアート | 他では見られない異色の画家、作品を展示しています |
| 51 ギャラリー みすの | 洋画、日本画、その他美術品全般取扱 |
| 52 中国美術 | 中国古陶磁、文房古玩(南宋龍泉窯青磁・唐三彩・耀州窯・
磁州窯・戦国漆器) |
| 53 古美術 河崎 | 東洋古美術(中国、朝鮮) |
| 54 古美術 たねおか | 伊万里、古民芸 |
| 55 画廊21 | 新進作家を売出し、展示会を中心に活動しています |
| 56 瀬良石苔堂 | 古陶磁、金石 |
| 57 ギャラリー ミュース | 色々な作家の展覧会をします |
| 58 マサゴ画廊 | 静かなギャラリーで癒しのひとときを… |
| 59 番画廊 | 大正9年築の古いビル1階にあります |
| 60 乙画廊 | 洋画と版画のギャラリーです。現代人の癒しの素となるART。
老若男女のパワーの素となるART。そんなARTをご紹介します |
| 61 ビクトギャラリー | アーティストエージェンシーPICTが運営するイラストを中心
としたアートギャラリー |
| 62 ギャラリー ブリュック | 洋画、現代版画を取り扱っています |
| 63 (株)フクダ画廊 | 洋画、版画、日本画から現代美術まで末永くお手元でご満足
いただける作品をご紹介します |
| 64 早川画廊 | 印象派から現代ヨーロッパ絵画 |

【注意事項】この地図は「大阪あそび」のまち歩き資料として作成されました。まち歩きには、歩きやすい服装と靴を着用してください。車などによく注意し、各自で責任をもって行動してください。また、住宅地では住民のプライバシーに十分配慮して歩きましょう。
【お問い合わせ】大阪コミュニティ・ツーリズム推進連絡協議会「大阪あそび」事務局 電話06-6282-5930(財団法人大阪観光コンベンション協会内) 「大阪あそび」の詳しいプログラムはホームページをご覧ください。 <http://www.osaka-asobo.jp> または「大阪あそび」でネット検索を。

大阪あそびのコースは約2km、2時間
程度を基準として作成されています。